

第11次鳥取市総合計画・第2期鳥取市創生総合戦略の策定に係る  
「人口増加につながる施策・事業について」  
インターネットアンケート調査結果

- 1 調査の概要
- 2 回答者について
- 3 調査結果

令和2年7月  
鳥取市企画推進部政策企画課創生戦略室

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本アンケート調査は「第11次鳥取市総合計画」及び「第2期鳥取市創生総合戦略」の策定に当たり、人口増加につながる施策や事業について、広く市民の皆さまのご意見を伺い、施策立案等の参考とするため、実施するものです。

## (2) 調査方法

### ① 調査対象

令和2年度鳥取市広報モニター 92人

### ② 調査方法

インターネット上に設置したアンケートに回答

## (3) 調査期間

令和2年7月21日（火）～令和2年7月28日（火）

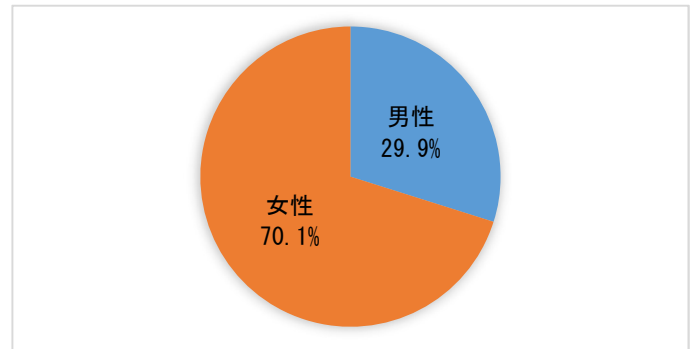
## (4) 回答者数

77人（83.7%）

## 2 回答者について

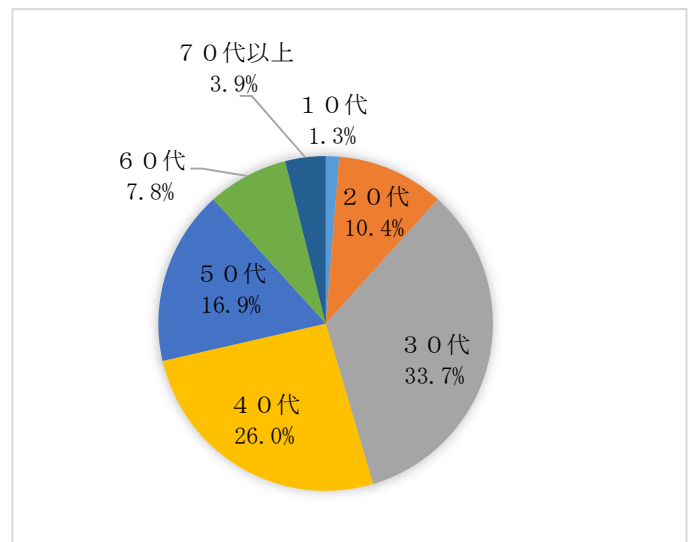
### ○性別

	回答者数	回答者割合
男性	23	29.9%
女性	54	70.1%
合計	77	100%



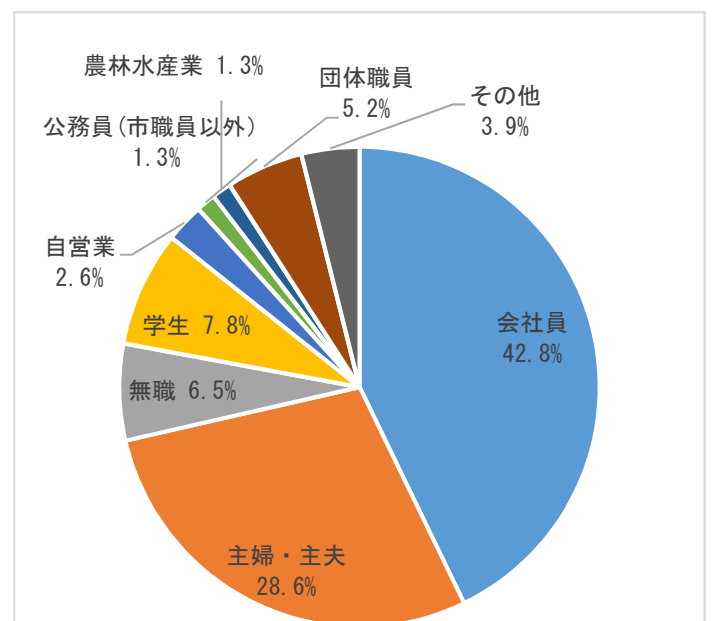
### ○年齢

	回答者数	回答者割合
10代	1	1.3%
20代	8	10.4%
30代	26	33.7%
40代	20	26.0%
50代	13	16.9%
60代	6	7.8%
70代以上	3	3.9%
合計	77	100%



### ○職業

	回答者数	回答者割合
会社員	33	42.8%
主婦・主夫	22	28.6%
無職	5	6.5%
学生	6	7.8%
自営業	2	2.6%
公務員 (市職員以外)	1	1.3%
農林水産業	1	1.3%
団体職員	4	5.2%
その他	3	3.9%
合計	77	100%



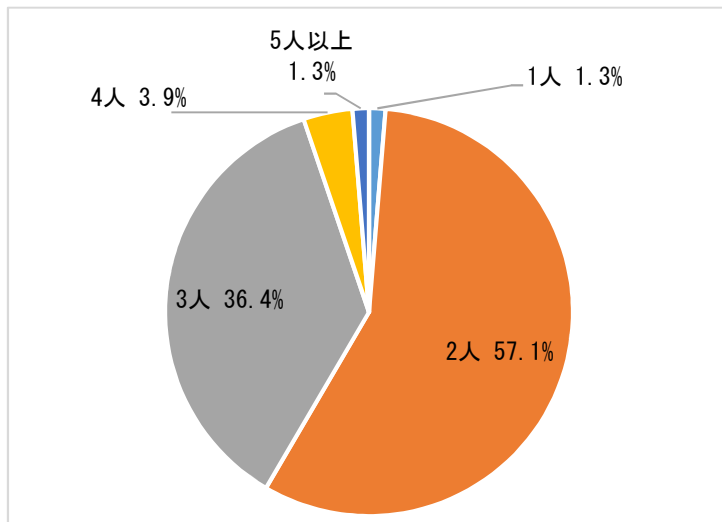
## ○居住地

	回答者数	回答者割合
鳥取地域	67	87.0%
国府地域	1	1.3%
福部地域	3	3.9%
河原地域	1	1.3%
用瀬地域	0	0.0%
佐治地域	1	1.3%
気高地域	2	2.6%
鹿野地域	0	0.0%
青谷地域	2	2.6%
合計	77	100%

### 3 調査結果

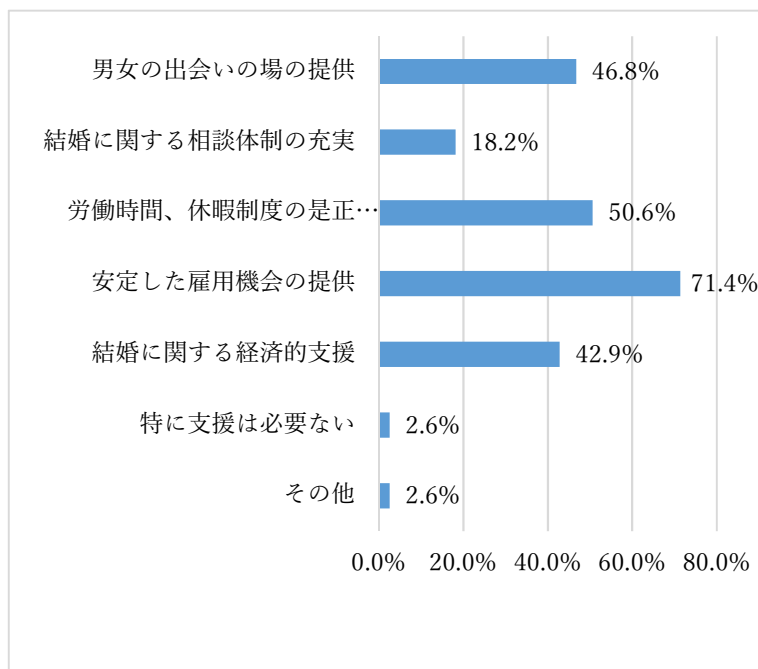
問1 あなたの理想とする（していた）子どもの数を教えてください。

	件数	%
1人	1	1.3%
2人	44	57.1%
3人	28	36.4%
4人	3	3.9%
5人以上	1	1.3%
いなくてもいい	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	77	100%



問2 結婚への支援には、どのような施策が効果的だと思いますか。 ※複数選択可

	件数	%
男女の出会いの場の提供	36	46.8%
結婚に関する相談体制の充実	14	18.2%
労働時間、休暇制度の是正など自由な時間の確保	39	50.6%
安定した雇用機会の提供	55	71.4%
結婚に関する経済的支援	33	42.9%
特に支援は必要ない	2	2.6%
その他（自由記載）	2	2.6%
合計	181	



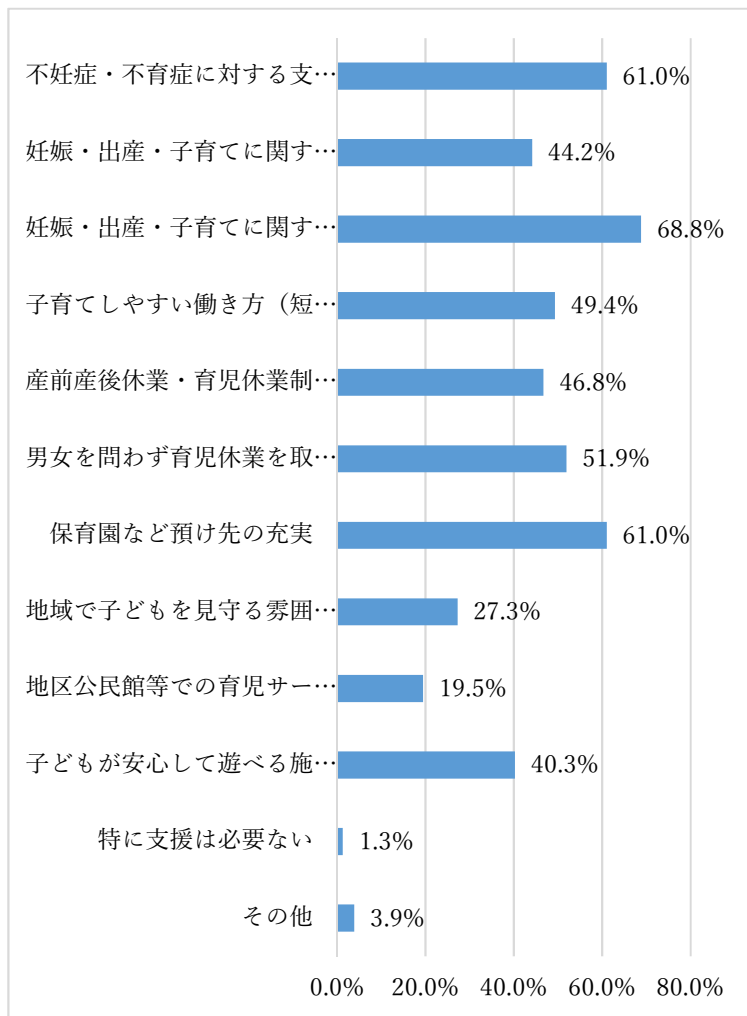
77

その他（自由記載）

居住環境の整備、サービスの提供
所得が上がること

問3 妊娠・出産・子育てへの支援には、どのような施策が効果的だと思いますか。 ※複数選択可

	件数	%
不妊症・不育症に対する支援・助成	47	61.0%
妊娠・出産・子育てに関する相談体制の充実	34	44.2%
妊娠・出産・子育てに関する経済的支援や社会保障の充実	53	68.8%
子育てしやすい働き方（短時間勤務、時差出勤など）の制度の充実、有給休暇取得率上昇等	38	49.4%
産前産後休業・育児休業制度の充実	36	46.8%
男女を問わず育児休業を取得しやすい職場の雰囲気づくり	40	51.9%
保育園など預け先の充実	47	61.0%
地域で子どもを見守る雰囲気の醸成・体制の充実	21	27.3%
地区公民館等での育児サークルの活動の充実	15	19.5%
子どもが安心して遊べる施設の充実	31	40.3%
特に支援は必要ない	1	1.3%
その他（自由記載）	3	3.9%
合計	366	



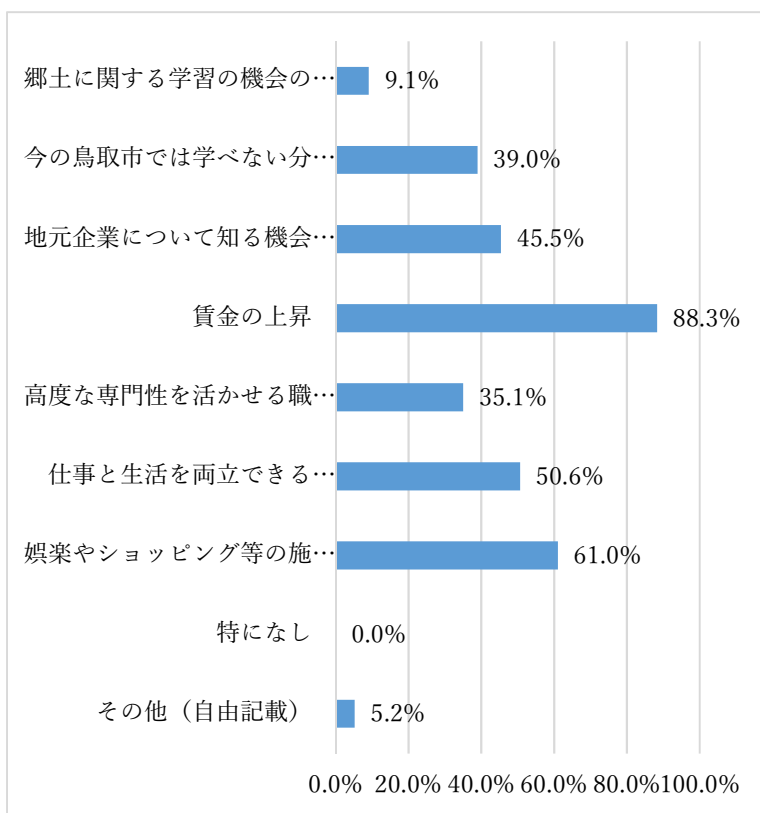
77

その他（自由記載）

義務教育の無料化、高校の義務教育化
24時間預けることのできる保育施設（自治体の管理下にあり高額ではないことが絶対条件）
産前の夫婦に対するセミナー、子育てのシミュレーションを行い夫婦が協力しあい子育てをする

問4 転出者数の減少に効果的だと思うものを教えてください。 ※複数選択可

	件数	%
郷土に関する学習の 機会の増加	7	9.1%
今の鳥取市では学べ ない分野に関する大 学等の学部・学科の 設置	30	39.0%
地元企業について知 る機会の増加	35	45.5%
賃金の上昇	68	88.3%
高度な専門性を活か せる職場の増加	27	35.1%
仕事と生活を両立で きる（ワークライフ バランス）職場の増 加	39	50.6%
娯楽やショッピング 等の施設の充実	47	61.0%
特になし	0	0.0%
その他（自由記載）	4	5.2%
合計	257	



77

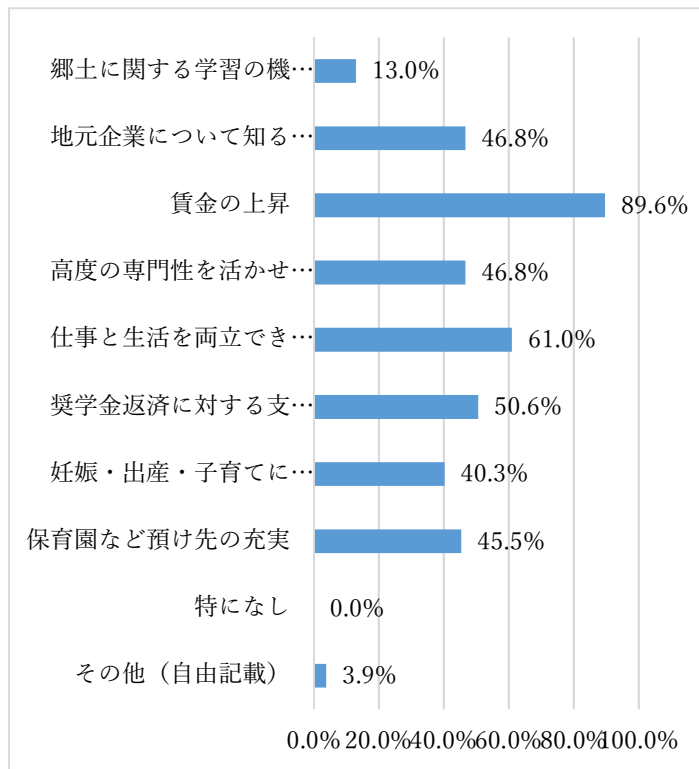
その他（自由記載）

鳥取では仕事もプライベートも充実するというライフスタイルの提案
子育て支援の充実
居住環境の整備と制度の充実
企業の誘致

問5 鳥取市から進学・就職で転出した若者のUターンの増加に効果的だと思うものを教えてください。

※複数選択可

	件数	%
郷土に関する学習の 機会の増加	10	13.0%
地元企業について知 る機会の増加	36	46.8%
賃金の上昇	69	89.6%
高度の専門性を活か せる職場の増加	36	46.8%
仕事と生活を両立で きる（ワークライフ バランス）職場の増 加	47	61.0%
奨学金返済に対する 支援の充実	39	50.6%
妊娠・出産・子育て に関する相談体制の 充実	31	40.3%
保育園など預け先の 充実	35	45.5%
特になし	0	0.0%
その他（自由記載）	3	3.9%
合計	306	



77

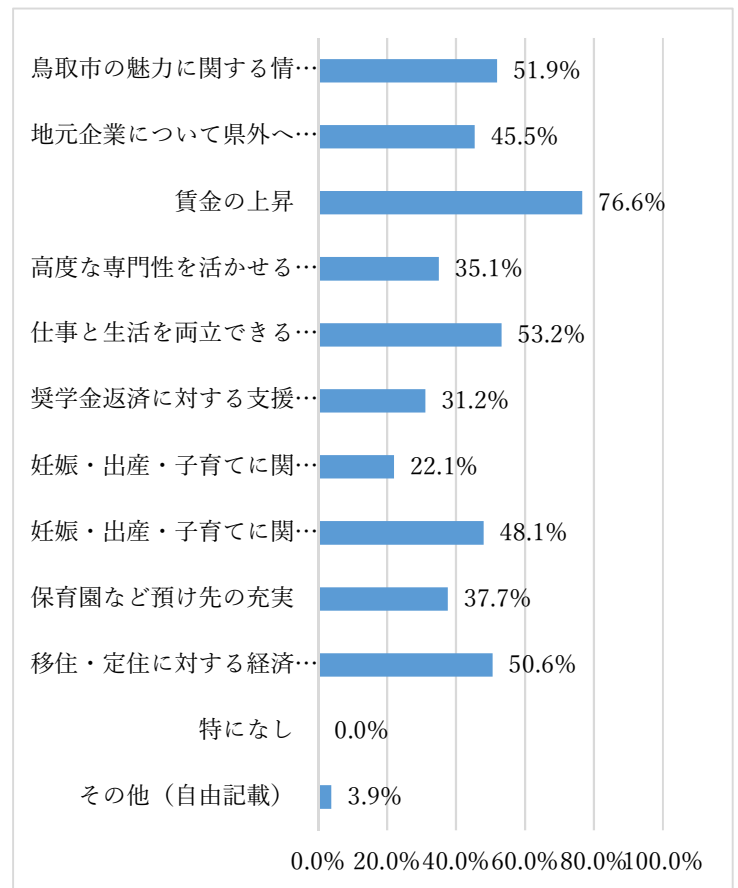
その他（自由記載）

地方の魅力のPR
娯楽の増加
先端、先進性ある企業の誘致、育成と就職機会の増加
娯楽施設等、若者の興味のある場の増加
住居費の減額



問6 (1つ前の設問以外の) 県外在住の若者の鳥取市への移住の推進に効果的だと思うものを教えてください。※複数選択可

	件数	%
鳥取市の魅力に関する情報発信の強化	40	51.9%
地元企業について県外への情報発信	35	45.5%
賃金の上昇	59	76.6%
高度の専門性を活かせる職場の増加	27	35.1%
仕事と生活を両立できる(ワークライフバランス)職場の増加	41	53.2%
奨学金返済に対する支援の充実	24	31.2%
妊娠・出産・子育てに関する相談体制の充実	17	22.1%
妊娠・出産・子育てに関する経済的支援、社会保障の充実	37	48.1%
保育園など預け先の充実	29	37.7%
移住・定住に対する経済的支援	39	50.6%
特になし	0	0.0%
その他(自由記載)	3	3.9%
合計	306	



77

その他(自由記載)

地域コミュニティ力のアップ
娯楽施設の拡充
移住した時に孤立せず、仲間づくりができること

問7 その他、人口増加に効果的と思われる取組みがあれば教えてください。(自由記載)

鳥取にしかない強みをもっとアピールすることが大切であると考え。人口が少ないからこそその強みがあるはずである(保育施設の空きや自然との関わりなどの都会にはないもの)。アピールしなければ地元の人にも他県の人にも伝わらず、人口は減っていくばかりである。そのため、まずは市内外へのアピールが大切であると考え。

環境的にどうかは別にして、若者が集まることができる施設(映画館、ラウンドワンのな娯楽施設、都会的な服屋さん等)が必要です。夜間に遊ぶ所があるかどうかは大切です。中高年、老人にも、例えば、ぽかぽか温泉より大きな温泉施設といった娯楽施設が必要かと。県外にわざわざ行って遊ぶ、買うと思わせない施設がいるのかなと思います。若桜街道のシャッター通り、駅周りを魅力的にできないかなと。ある程度の規模の映画館は今一番で必要と考えています。

鳥取は温泉地が多いです。それを活用して新築誘致を行ってほしいと思います。温泉の出る家は魅力です。また、自然が多いことも魅力ですので特に日本海をもっと活用できないかと思います。

鳥取は全国的に賃金が安い。業種も少ない。一因には大企業が少ないことがあると思います。大企業の積極誘致は必須です。働ける場を増やすことは大切です。

若者に限ったことではないですが、今は仕事よりプライベートの充実が世の中の的になっていると思います。若者が増えれば、結婚、出産の率も自然と上がるでしょう。医療保障は他県に比べても充実していると思います。魅力ある街作りかなと思います。

私の主人の友人は鳥取育ちですが、就職先があまりないということで県外で暮らしています。

雇用だったり、賃金的なことがネックになっていて、鳥取に帰りたいけれど、帰れないということでした。結婚している身からすると、鳥取市は子育て等に関して、充実した支援があるので、とても魅力的です。独身の方からすると、仕事や出会いの場の提供などもいいのかもしれない。

鳥取の子育て支援は素晴らしいと思いますが、その子どもの将来像があまり見えてこないです。都会の人はやはり、子どもには十分な教育環境を与えてやりたい(有名大学への進学)と思っていると思います。鳥取でも十分な教育環境があり将来どんな仕事にも就けることを実証してアピールすることが必要だと思います。

他県へのアクセスの良さや保育園の充実(スピーディーに入園の可否が解るようにしてほしい。)、子育てにおいての地域密着など。(岡山県奈義町のしごとスタンドのような取り組み)

若い男女の出会いの場を設け縁結びの後押しをする。近所にも独身者が多いので他人事ながら危惧している。

古民家を活用して、Uターンの方に住んでもらい住居を提供する。

子供が遊べる場所の提供。(親子で楽しめる所)

自然の素晴らしさを、発信していく。

第一は、賃金が安定しないと、遊ぶ事も出来ない、お金が流れない。新しいことを始めても続かない、続けられない。

第二は、健康な体を作らないと、何も楽しめない。医療費削減のためにも、身体作りを楽しく出来る場所や、時間が欲しい。そのため勉強も、幼い頃から必要だと感じる

第三は、制度があっても、使い辛い社会では、子育て、妊活も出来ない。

生活保護を受けている人の生活は優雅で、年金暮らしの人が貧乏なのはおかしい。税金の使い方を精査しないとイケない。不透明！
保育料を安くする。シングルマザーへの支援の充実。
子育てを経済的に保証する。医療、教育収入差に応じて授業料等の援助がある。すると理想の出産人数可能かと思う。
空き家活用して I ターンを促す。
鳥取市南部地区など山間地の魅力向上。仕事の場の確保。国の施設の誘致はできませんか。
鳥取は土地が沢山あるのに、いかされてないと思う。海も景色も綺麗なところは沢山あるのに、他の県とちがって、リゾート施設になってないのが不思議に思う。その理由に人材の質の低さや低賃金なのが問題だと思う。その辺を改善すれば自然と人口増加すると思う。 子育て王国のわりに、子どもに対しての経済的支援が備わってないと思うのでその辺を改善すれば、増加していくと思う。
地域環境を活かした、独自性ある制度の整備、社会的支援の充実と雇用機会増加につながる先進事業の創設、誘致と育成。安心、安全で楽しい社会環境の整備と支援、保証の充実。人口増加への取組み、状況等の積極的情報発信と特色あるPR。
現実的に「増加」は難しいところだと思うので、まずは「減少の食い止め」に焦点を置いた方がいいのかな、と思う。大学進学により県外へ出てしまう率がかなり高いと思うので、今ある大学に新しい学部を作る・県内大学進学が決まった人には何かしらの援助(?)を行うなど…。
企業の本社の誘致
鳥取市の魅力の発信はかなり積極的に行われていると思います。鳥取にしながら、こんなサービスがあったんだ、こんな場所があったんだ！と利用することも多々あります。また、こんな時期だからこそと飲食店や観光業界などSNSを使って様々な企画を行っており、企業だけではなく、暮らしている私たちにも住みよい場所だと嬉しく思っております。そういった企画はとても素晴らしく感じておりますが、妊娠、出産、子育てに関しての発信がHP上に少ないように感じ、どこに目を向ければ確実に必要な情報が得ることができるかわかりづらい状態です。私自身、子作りを考え、旦那とも相談しておりますが、出産についての病院、サービスなど、鳥取市から得る情報ではなく、周りの人から聞いて得るばかりで、内容が偏っていると感じています。安心して妊娠、出産、子育てができるよう、相談窓口、どんなサービスがあるか、どういった病院があるのか、鳥取市のHP上にわかりやすく掲載いただくだけでも、これからを考えている夫婦からすると子供一人、もう一人と授かり、人口増加にもつながるのではと思います。
特になし
現在我が家ではひとりっ子です。希望は2人以上育てていきたいのですが経済的な不安もあり伸ばし伸ばしとなっています。子育てにかかる費用の情報を得ると学費や生活費などなど莫大だという情報が多数を占めていて、不安が残ります。1人目の出産時にはゴミ袋の支援があり必ず必要なもので意外と高価なので助かりました。もう少し経済的な子育て支援があれば家族を増やしたいと考えているひとりっ子世帯でも出生率の上昇に貢献できると考えます。

大都市の企業で地方でもリモートワークできるような選択肢があるとよい。地方でも質・レベルの高い教育が受けられるような学校や、スポーツの分野でも一流アスリートを目指す子どもたちが専門的に指導してもらえる環境があるとよい。あえて娯楽やショッピング等の施設を充実させなくとも、鳥取ならではの自然豊かな環境を生かした生活が充実できるよう整備してほしい。

無いものはなかなか作れないので(娯楽施設等)、まずは賃金を上げるなどして、鳥取に行ってもいいと思える環境を整え、自然の中での子育てや生活をアピールするのが大切かと思います。テレビで移住先として取り上げられているのを見ましたが、これも効果的かと思います。

自分の周りでも一人で暮らせられないような賃金(手取り10万円台)で働いている30代、40代が多く、結婚どころではないと思う。都会に比べて業種が限られているなど仕方がない部分があるが、鳥取でも豊かに暮らせるならば、いくらでも人は集まる環境だと思う。

出産に対する多少の経済支援では効果は期待出来ないと思います。なぜなら、多くの諸外国が所得が増えても出生率は増えない、むしろ反比例の関係にあると思うからです。ですから、必要だと思う取組みは、子どもに当てれる時間を作り出すこと、また、それを可能にする、多少ではなく圧倒的な経済支援だと思います。

移住・定住に対する相談員の質的、人数等の体制の充実。情報発信の工夫の掘り下げが必要だと思う。

交通の便が悪いと思います。普段の生活はもちろん県外へ出かけることにも不便で、公共交通機関も自家用車でももっとスムーズに活動することができれば鳥取市の魅力アップに繋がると思います。

#### 子育て支援の充実

住宅対策…子育て世代に焦点を当てた市営住宅(4LDK)※学区や利便性のよい地区 または、子育て期間のみ市が広めのアパートを借り上げ、安く提供する。

自動車税減免…子どもが3人以上いる場合の自動車税の減免

給食費無償…幼稚園から高校まで給食費無料に

生活支援…子どもが2人以上いる場合(小3まで)のファミリーサポート月2回の無料チケットの配布 3人だと週1回 ※ファミリーサポートの支援員さんが自宅に入り、掃除や料理などお母さんをサポートし、お母さんの頑張りをほめたり、子供の良さをほめたり…育児の楽しさを実感してもらおう。高齢者の支援員育成。

明石市の子育て支援はインパクトあります。市が一時養育費の立替えをしたことはニュースになりました。鳥取市も子育てに力を入れていると印象づけたいです。

比較的自然災害・流行の病気が流行りにくい地域の特性を移住者にアピールして人口増加の一助とする。鳥取城跡の大手門にあるハート石・猪目のアピールを通して魅力発信をする。

不妊治療の治療費を全額負担することにより金銭面で治療をあきらめていた人が取り組むことができるし、県外からの移住者も増え、人口増加につながる

行政も企業も、家族手当支給金額の見直し

<p>企業誘致</p> <p>大学等のオープンキャンパス活性化</p> <p>移住者増加のため、テスト期間の積極推進</p>
<p>住宅環境を整えて 持ち家でなくても2～3人優に遊ばせることが出来合わせて近くの子がやってきても 気にせず集える。そんな環境があれば 安心して複数産み育てることが出来ると思います。</p>
<p>我が家は子ども2人、県外。今年は1人就職しましたが、去年は2人が大学生。別々の県でそれぞれアパート暮らし。出産や子育ての環境整備もだが、高校卒業後、県外の大学とアパート暮らしにかなりのお金がかかり、なかなか子どもを多く産み育てることが大変な時代。市の施策ではどうにもならないだろうが、根本はそこではないかと常に思う。核家族ではなく、昔のように3世代とかの暮らしになるなら子育て面やアパート代不要で少し助かりあと一人産めるか？そのためには県外の大学で専門の事を学び、それを生かせる仕事が鳥取にあり、また子どもが我が家に帰って来ることが必要だと思う。</p>
<p>商業施設や求人が少ないから、県外に出てしまうのだと思うので、賃金引き上げと求人を増やすのが、一番だと思う。子育てはしやすい、充実している方だと感じている。</p>
<p>子育てにはいい環境であることは間違いないが、働くところなければ帰ってこれないし、給料が安ければ結婚できない。都会との賃金格差が大きすぎる。</p>
<p>三洋や日立金属など吸収、撤退のあった企業が影響あったように大企業の誘致など必要なのでは？また買い物するところや子どもを遊ばせる場所が限られているようにも思える。もっと子どもを連れて遊べる、食べれる場所の選択が欲しい。</p>
<p>経済的なことが1番大きいと思う。最低賃金が最低水準であることは厳しいと思う。</p>
<p>遊べる場所が、公園やショッピングセンターしかないため遊園地や水族館などのテーマパークがほしい。他県から来られた方に遊ぶとこないねと声をかけられてしまいます。都会によくある、激安スーパーや激安惣菜屋さんなどもなく賃金も低いため買い物も田舎なのに高くつく。</p>
<p>子育てには、なぜ自然が近い方がいいのか、をもっと効果をアピールすべき。鳥取市に住んでいる方々へ、なぜ人口が増えるといいのかを説明する。もしくは減少することで将来どうなってしまうかを説明する。他県から移住してくることを歓迎する雰囲気をつくるべき。そもそも増えてほしいと思っているのだろうか。</p>
<p>郷土に関する学習の機会を大事にしてほしい。堅苦しいものではなく、季節の行事や地元での思い出を。小さい頃の楽しい記憶は、地元に戻ろうかなあと思わせる。自分の子供にも体験させてやりたいと思う。一度は県外に出て外を見ることも良いこと。仕事が無くても、気持ちがあれば帰って来ると思います。</p>
<p>災害時等の避難所増設と高齢者介護施設の充実。</p>
<p>住みやすく子育てしやすい環境アピール(具体例をあげて)</p>
<p>賃金の上昇</p> <p>教育資金の経済的支援</p>

他県から越してきましたが、車がないと生活が不便な状況なので、バスなどの公共交通機関をもっと充実させてほしいと思いました。街はコンパクトで割と商業施設も充実していると思いますが、物価が安いわけではありません。現在、派遣などの仕事を探していて給与水準が低めかなあと感じます。自然も多いし、関西も近いし、収入が増えれば住みたいと思う人が増えるのではと思います。

出生率の増加という草の根的な運動も必要ではあるが、今の鳥取市の状況では、転出超過を止めることが何よりも重要。そして転出の最たる要因である県外大学進学者がふるさとで就職しないという事象については、まず鳥取県の労働環境の悪さが一番の原因であると思われる。柱となる企業（労働条件の良さとして飛び抜けていて、かつ、人数が多く、本社が鳥取にある企業を想定）がないため、鳥取で就職すること、イコール、経済的な裕福さを捨てる、という状況となっている。行政にとっては一番手当しにくいポイントではあるが、そこをどうにかしない限り転出超過を止めることができない。

以前にテレビで引きこもりの人が集まるシェアハウスがテレビでやっていました。過疎化地域の高齢者の方と、引きこもりで人と話すのが苦手な若者の交流がよい相乗効果を生んでいました。若い男女にこだわったり、都会から人を呼ぶことにこだわりすぎた移住者支援のように感じるので、多様な人を鳥取に呼ぶ政策が求められると感じます。

魅力的なファッションや、サブカルに關係する施設の誘致。

他県から移住してきたが、鳥取は、何にもない。が、沢山の自然がある。その資源を活用した、会社を作れないものか？

山のなかにデカイアスレチックを作れば集客は可能。しかし人口増加には繋がらないかなと感じる。

鳥取にしかない強みをもっとアピールすることが大切であると考えます。人口が少ないからこそその強みがあるはずである（保育施設の空きや自然との関わりなどの都会にはないもの）。アピールしなければ地元の人にも他県の人にも伝わらず、人口は減っていくばかりである。そのため、まずは市内外へのアピールが大切であると考えます。

環境的にどうかは別にして、若者が集まることができる施設（映画館、ラウンジ的な娯楽施設、都会的な服屋さん等）が必要です。夜間に遊ぶ所があるかどうかは大切です。中高年、老人にも、例えば、ぼかぼか温泉より大きな温泉施設といった娯楽施設が必要かと。県外にわざわざ行って遊ぶ、買物すると思わせない施設があるのかなと思います。若桜街道のシャッター通り、駅周りを魅力的にできないかなと。ある程度の規模の映画館は今一番で必要と考えています。

鳥取は温泉地が多いです。それを活用して新築誘致を行ってほしいと思います。温泉の出る家は魅力です。また、自然が多いことも魅力ですので、特に日本海をもっと活用できないかと思っています。

鳥取は全国的に賃金が安いです。業種も少ない。一因には大企業が少ないことがあると思います。大企業の積極誘致は必須です。働ける場を増やすことは大切です。若者に限ったことではないですが、今は仕事よりプライベートの充実が世の中の的になっていると思います。若者が増えれば、結婚、出産の率も自然と上がるでしょう。医療保障は他県に比べても充実していると思います。魅力ある街作りかなと思います

私の主人の友人は鳥取育ちですが、就職先があまりないということで県外で暮らしています。雇用だったり、賃金的なことがネックになっていて、鳥取に帰りたいけれど、帰れないということでした。結婚している身からすると、鳥取市は子育て等に関して、充実した支援があるので、とても魅力的です。独身の方からすると、仕事や出会いの場の提供などもいいのかもしれない。

鳥取の子育て支援は素晴らしいと思いますが、その子どもの将来像があまり見えてこないです。都会の人はやはり、子どもには十分な教育環境を与えてやりたい（有名大学への進学）と思っていると思います。

鳥取でも十分な教育環境があり将来どんな仕事にも就けることを実証してアピールすることが必要だと思います。他県へのアクセスの良さや保育園の充実（スピーディーに入園の可否が解るようにしてほしい。）、子育てにおいての地域密着など。（岡山県奈義町のしごとスタンドのような取り組み）

若い男女の出会いの場を設け縁結びの後押しをする。近所にも独身者が多いので他人事ながら危惧している。